

# 長野県埋蔵文化財センター ニュース

## みすずがる

9号

平成18年3月10日発行

## 長野県の遺跡発掘 2006



### 低湿地に眠る中世のムラ東條遺跡 (千曲市八幡)

「田毎の月」で知られる<sup>おぼすて たなだ</sup>姨捨の棚田の末端、千曲川の<sup>はんらんげん</sup>氾濫原に接しようとする地点に東條遺跡があります。土石流からなるこの傾斜地は、1 mほど掘り下げると浸透した水が湧き出てきます。このような条件の下で、普通であれば腐って残らないはずの木製品が土の中に眠っていたのです。漆器・<sup>しつき</sup>箸・<sup>はし</sup>櫛・<sup>くし</sup>下駄・<sup>げ</sup>曲物など日常生活品が井戸跡からみつかっています。

# 竹佐中原遺跡 (飯田市竹佐)

## ～ 2005 年度の調査が提示する問題～

日本列島に人類がいつごろ住み始めたのか。考古学では未解決の問題のひとつです。旧石器時代の遺跡は、約 30,000 ～ 35,000 年前には全国各地に見られるようになります。それ以降、約 15,000 年前に土器がつくられる時代（縄文時代）までを後期旧石器時代と呼んでいます。後期旧石器時代以前に人類が日本列島に来ていたのかどうか、考古学界でも議論されているところです。

2001・2002 年に調査された A 地点と B 地点の石器については、「B 地点が後期旧石器時代の初頭とすれば、A 地点の石器文化はほぼ近い時期からそれを時間的に<sup>さかのぼ</sup>る石器文化であると考えられる。」と報告されています。

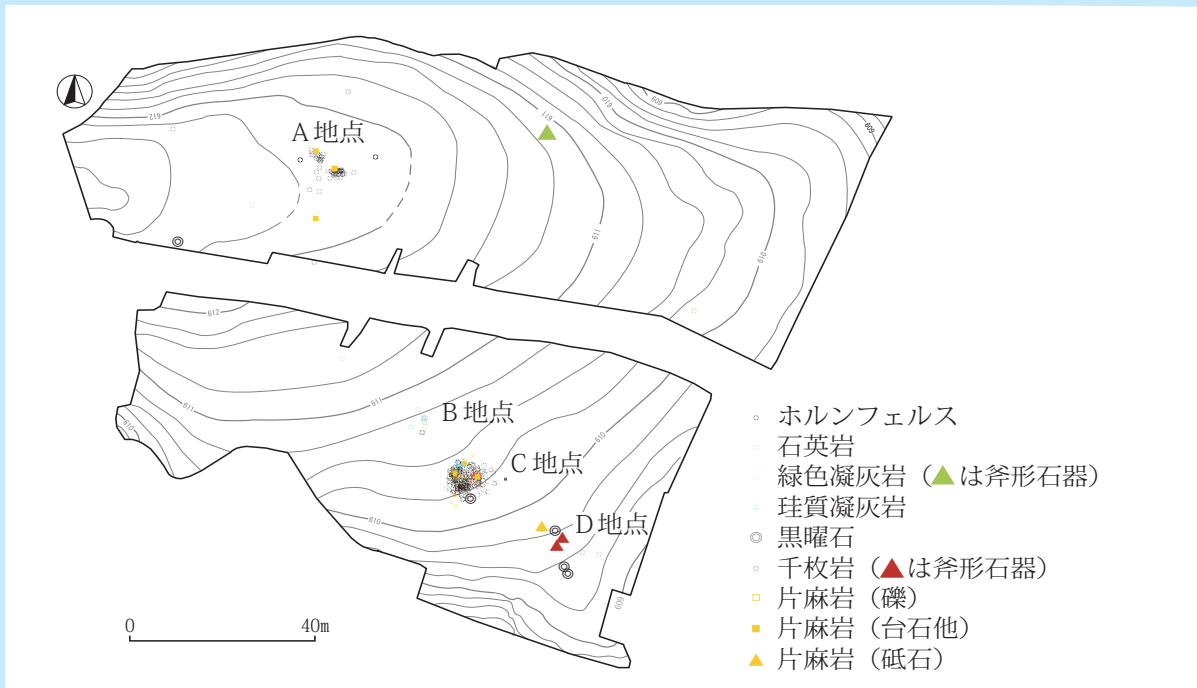
2005 年度調査では、新たに C 地点(429 点)と D 地点(8 点)の石器群が発見され、C 地点の石器は、A 地点の石器とともに「国内最古級」と報道されました。調査が進み、D 地点から後期旧石器時代に見られる斧形石器が出土したことにより、A 地点や C 地点の石器も後期旧石器時代のものであるとする、これまでとは異なった意見が出てきました。A ～ D 地点の石器は同じ文化のものなのか。竹佐中原遺跡で何が行われ、それはいつのことであったのか。などは深まるばかりです。しかし、竹佐中原遺跡の石器が、旧石器捏造事件でかき消された日本史の第一頁を書き直すための重要な資料であることは確かなことです。



竹佐中原 C 地点の石器



竹佐中原 D 地点の石器







竪穴住居跡から出土した土器と石器

もりだいら <sup>たてあな</sup>  
**森平遺跡**の竪穴住居跡には、土器や石器がまとめて捨てられた場所がありました。写真後方は、そうした場所から出土した弥生時代中期(約2000年前)の土器です。また、木を切る斧(おの <sup>ふとがたはまぐりほせきふ</sup>・写真左前)と木を削る道具(へんぺいかたば <sup>みが</sup>)、磨いて作った石鏃(磨製石鏃・右前)がみつかりました。

佐久市横和



縄文中期の大型石囲い炉

せんた  
**千田遺跡**で縄文中期後半の竪穴住居跡につくられた石囲い炉です。千曲川から運んだ人頭大よりやや小さい石をコの字形に埋め込んでいます。内側の掘り込みは浅く、焼土が残っています。新潟県にあるタイプで、長軸1.9mもあり、長さは長野県最大の石囲い炉とされます。

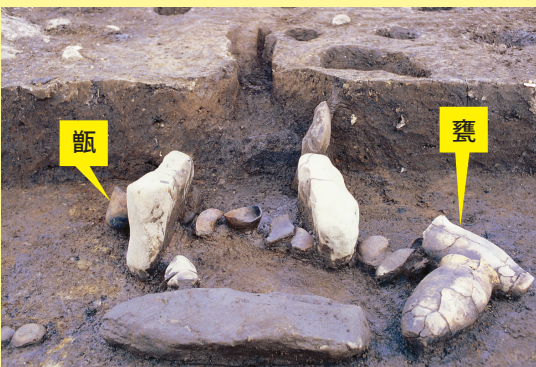
中野市豊津



駒形遺跡の縄文土器

こまがた  
**駒形遺跡**では、約6000年前(縄文時代前期)に使われた縄文土器が多くみつかりました。多くのものは底が尖っていて、そのままでは地面に置けません。石などで固定して使っていたのでしょう。また、関東や東海地方の土器がみられ、縄文人の交流範囲をうかがうことができます。交流の背景に、黒曜石の交易があったと考えられます。

茅野市米沢



カマドに残された甕と甑

かわくほ  
**川久保遺跡**では、カマド付近で甕と甑がセットで出てきました。古墳時代の後半頃、朝鮮半島からカマドで煮炊きする風習が伝えられ、信州でも利用されるようになりました。それと同時に甕と甑が普及するようになりました。カマドで長い胴の甕に甑をのせて米を蒸し、あわせて小型の甕で副食類を煮炊きしたと考えられています。

中野市豊津

# 埋文情報

## 『長野県の遺跡発掘2006』 開催のお知らせ

今年度、長野県埋蔵文化財センターが調査した遺跡の速報展を長野県立歴史館と伊那文化会館で開催します。出土した遺物の展示だけではなく、旧石器時代の石器群や縄文時代の石囲炉の状況を再現してみました。ぜひ、足を運んでいただき、考古学を体感してみてください。

### 長野県立歴史館

2006年3月18日(土)～5月11日(水)  
休館日:3月20日(月)22日(水)27日(月)  
4月3日(月)24日(月)5月8日(月)  
入場料:一般300円(団体割引、学生料金有  
なお、土日祝日は小中高生は無料)

#### 【講演会】

田中二郎氏 京都大学名誉教授  
「アフリカ大陸の狩猟採集民」

日時:4月8日(土)14:30～16:00

会場:長野県立歴史館 講堂

#### 【調査報告会】

長野県立歴史館講堂

日時:4月8日(土)13:00～14:20

### 長野県伊那文化会館

2006年7月6日(木)～7月23日(日)  
休館日7月10日(月)、18日(火)

#### 【ミニシンポジウム】

「天竜川流域の考古学」

日時:7月22日(土)14:30～16:00

会場:伊那文化会館小ホール

#### 【調査報告会】

長野県伊那文化会館会場小ホール

日時:7月22日(土)13:00～14:20



## 竹佐中原遺跡

### 報告会・シンポジウム開催される。

竹佐中原遺跡等調査指導委員会を市民の皆様幅広く公開するという趣旨で、2月18・19日に飯田創造館で報告会・シンポジウムを開催しました。

竹佐中原遺跡ばかりでなく周辺遺跡の石器資料を手元に置きながら、調査指導を受けた各分野の先生方をはじめ、延べ120名の参加者によって、出土石器の年代観や日本列島、さらには東アジアにおける位置づけにまでわたって、率直な感想・意見交換・討論が共同の学習会のように繰り広げられました。後期旧石器時代と異なる石器群をどう理解するのかについて多くの課題が提示されました。



### 野帳

例年がない寒い冬も、三寒四温の言葉のとおりときどき寒さが戻ってきますが、冬の終盤を思わせるような春の陽ざしには心が躍ります。

今年度の調査は、北は中野市、南は飯田市と全县におよんでいます。それらの成果や先日、報告会・シンポジウムが開催された竹佐中原遺跡(飯田市)の旧石器など、その一端を速報展で公開します。ぜひ足をお運びください。

(財)長野県文化振興事業団  
長野県埋蔵文化財センター

〒388-8007

長野市篠ノ井布施高田963-4

TEL 026-293-5926 / FAX 026-293-8157

E-mail maibun@grn.janis.or.jp

http://www.grn.janis.or.jp/~maibun/